

Democratic Data Day Spring 2023 データ民主化の方法論

2023.5.31 Wed 16:00 Start
Modern Times オンラインイベント(Zoom)

イベント詳細/参加登録



Program

Keynote

データ管理の中立性から考えるデータ民主化

16:00-16:30

理化学研究所・革新知能統合研究センター分散型ビッグデータチームリーダー
東京大学大学院情報理工学系研究科 附属ソーシャル I C T 研究センター・教授
橋田浩一氏

Session-1

データ民主化成功のカギを握る
「セキュアとデモクラティックの両立」を読み解く

16:30-16:50

三菱総研 D C S テクノロジー事業本部 データテクノロジー部長
矢沢陽介氏

Session-2

自然発生的マルチクラウド(クラウドカオス)を突破、
データ民主化時代のクラウドサービス活用術

16:50-17:10

三菱総研 D C S テクノロジー事業本部 クラウドテクノロジー部長
小宮裕和氏

Discussion

FQ Smart+ × Neutrix Cloudで実現するデータ民主化
～サービスを賢く利用して、フルオーダーメイドライクなIT環境を実現～

17:10-17:30

矢沢陽介氏 × 小宮裕和氏 × 田口勉氏 (Neutrix Cloud Japan CEO)

Democratic Data Day /データ民主化の方法論 とは

海外でその流れが加速している“マルチクラウド化”は、複数社のパブリッククラウドを組み合わせる使用することを意味しますが、日本国内の場合、複数の部署がそれぞれ異なるパブリッククラウドと契約してしまうことで、同一企業内でも情報流通に支障をきたす、データアグリゲーションによる高度な分析が不可能、データレイクが断片化されたまま、という状態が散見されます。これは戦略的マルチクラウドとは言い難く、「同じ会社なのに情報が共有できない」という非民主的な状況が発生していることとなります。さらに踏み込んで言えば、パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス等の利用形態やロケーションに依存しないマルチクラウド環境こそが知識集約型社会・データ駆動型社会のインフラとしてふさわしいはずです。収集・蓄積・分析・活用・転送・結合・移動が自由かつ安全に、そして安価に行われることでデータの民主化は実現されます。今回実施する「Democratic Data Day /データ民主化の方法論」はその具体策を、

橋田浩一氏（理化学研究所・東京大学）および三菱総研DCS株式会社にご協力いただき、ご提示させていただこうとするものです。戦略的マルチクラウドにより社内の情報環境を再構築したいと考えるビジネスユーザーの皆様にご参加いただきたい、と考えています。

参加登録でAmazonギフト券
1,000円が50名様に当たる！

イベント名称	Democratic Data Day Spring 2023 データ民主化の方法論
開催日時	2023年5月31日（水）16:00～17:30（予定）
開催方法	Zoom Webinars を利用したオンライン開催です。 お申込みいただいた方に参加用URLをメールにてお送りします。
参加登録	イベントページからご登録ください。 https://www.moderntimes.tv/democraticdataday/
参加費	無料
主催	Modern Times編集部（スタイル株式会社）
後援	三菱総研DCS株式会社、Neutrix Cloud Japan 株式会社
お問い合わせ	Neutrix Cloud Japan株式会社 コーポレート本部 press@neutrix.co.jp

